

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーの未来はあなたの手の中に
The Future of Rotary Is in Your Hands
国際ロータリー会長 John Kenny



世界にも目を向けよう
Reaching Out to the World
富津中央RC会長 志波 克

2009～2010

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2121 第5回例会 2009. 7. 30 晴

点 鐘 : 志波 克 会長
進 行 : 大網庄一郎 副 SAA
ソング : それでこそロータリー

会長挨拶

志波 克 会長



ある雑誌でジャーナリストの櫻井よしこ氏が、地球物理学者「赤祖父 俊一」氏の主張を基に、日本が二酸化炭素削減に巨費を投ずる事への疑問を述べていたのを読み、私自身以前からこの問題が何かおかしいと感じていたので、早速赤祖父氏の著書「正しく知る地球温暖化」を読みました。

それは、国際気候変動パネル (IPCC) という学界でもなく権威もないグループが誤った資料で二酸化炭素を温暖化の主原因とし削減運動を始めたことに、日本が何の疑いもなく乗り、無駄な労力、巨額な資金を費やしている事への警鐘でした。

『確かに地球は1800年頃から現在まで温暖化

が続き、気温が100年で0.6℃程上昇している。しかし、それは「小氷河期」からの回復という自然変動で、炭酸ガスの温室効果による影響はあっても6分の1程度である。100年後には、日本が炭酸ガスの排出を全部止めても止めなくても関係なく、平均気温は1℃弱上昇するだろう。(志波注:別の資料によると、日本が無排出なら0.004℃くらい上昇が抑制される)勿論、平均であるから、年ごとには数度の温度変化は恒常的に出てくるが、これは異常気象と呼ばれるもので気候変動ではない。

日本は炭酸ガス削減だけで、これから10年間で数十兆円を使わなければならない立場になっている。

IPCCの気温変化予測は、出発10年で大きく外れている。このように不正確な温暖化理論を基とした約束に従う必要はない。その大切な資金は「エネルギー」と「食糧」の確保に使って欲しい。

日本が世界会議の主催国になりたいなら、「地球温暖化防止」などより「省エネ」や「環境破壊防止」会議の方が遙かに有益だ。省エネでは、日本は世界にお手本を示すことが出来る。』と言う様な事が書いてありました。

蛇足: 二酸化炭素 = 炭酸ガス = CO₂

参考:

* IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change 気候変動に関する政府間パネル)

IPCC は1988年に国際連合環境計画と世界気象

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



機関が共同で設立。現在国際連合の気候変動枠組条約の科学的調査を代行中。

*ホッケー・スティック

1000年から1900年までの地球の気温は緩やかに降下したが、1900年頃突然急速に上昇(温暖化)に転じたというもので、その気温変化の記録がホッケー・スティックの様な形に見えるので、グラフにこの名がついた。

2001年、IPCCが発表した「政策立案者のための要約」にこのグラフが使われ、大反響を呼んだ。しかしその後、各方面からホッケー・スティックの不自然さに疑問が噴出し、2007年の「政策立案者のための要約」では、この図が取り下げられた。この取り下げは、殆ど報道されていない。

*赤祖父氏の疑問の一つ

赤祖父氏はホッケー・スティックに、1000～1200年頃の温暖期と、1400年頃から始まった低温、小氷河期が示されていない事に疑問を持った。

小氷河期を考慮に入れると、現在の温暖化は1800年頃から直線的に続いている事が分かる。つまり、炭酸ガス放出が急激に増加し始めた1946年より150年も前から温暖化が始まっていて、これは明らかに自然変動の要因が強い。

IPCCの報告書では、温暖化は1900年頃から始まったとしているが、これは意図的に1900年以前のデータを無視している。

*東京工業大学教授丸山茂徳氏によれば、地球は昨年あたりから寒冷化が始まった筈で、2035年には1900年時の気温に下がるだろう、との事です。

会長報告

1. 例会終了後「長期計画作成」に関する理事会を開きます。
2. 今年度の国際大会は、2010/6/20~23にカナダ・モントリオールで開催されます。クラブ管理運営委員会で出席を検討して下さい。出席者が居れば私もお伴します。
3. 永島強会員に会員紹介功労のスポンサー・

ピンが直前ガバナーから送付されましたが、例によってピンの付け根が折れています。早速交換して貰いますが、形だけの贈呈式をします。



永島前増強委員長にスポンサーピンの贈呈

幹事報告

榎本守男 幹事



早いものでもう7月の最終例会です。これから暑さも本番です。

身体に気をつけ8月も元気に出席をお願いします。

1. 上総RCより8月13日休会のお知らせ
2. 第43回インターアクト年次大会の案内
受付 8月19日9時
場所 松戸市聖徳大付属中学高等学校
テーマ 未来はあなたの手
多くの皆様のご参加をお願い致します。
3. 「ロータリーの友」への情報提供のお願い
①家族をまきこんだ奉仕活動
②地域に根ざした活動
③うちの凄腕新会員
以上のテーマについての記事、エッセイあるいは写真などの情報を是非およせください。

4. 東金RC創立50周年記念式典
日時 9月15日 14時登録開始
場所 東金文化会館
登録料 10,000円
5. 国連支援事務局 薬物乱用防止活動支援寄付の御礼
6. 織田ガバナーエレクトより活動計画書受領の御礼状が来ています

会員卓話

千葉一利 会員



「ビル・ゲイツ・シニアへの7つの質問」

ロータリーの供7月号より

1. ビル・ゲイツ・シニア
ウィリアム・ヘンリー・ゲイツ三世の父 弁護士
ビルはウィリアムの愛称
2. ビル・ゲイツ(53歳)
20世紀に類を見ないビジネス上のサクセスストーリーを作り上げ、経済界、ソフトウェア業にその名を残すであろう人物、世界にその名が知られている。
マイクロソフト社の会長、ビル&メリンダ・ゲイツ財団会長、世界で1・2位を争う大富豪、資産推定400億ドル(2009年)
OS市場のほとんどを牛耳る、ウィンドウズを作り出した会社のドン、マイクロコンピュータ・ソフトウェアからマイクロソフト社と名付ける。ほとんどの人がこの会社のソフトを使っている。マイクロソフト帝国と呼ばれている。
ビルゲイツは、1955年10月28日ワシントン州のシアトルで生まれる。父は弁護士、母は銀行家の娘、比較的裕福な家庭、私立のレークサイドスクールへ、その学校が母親クラブの発案

で学校教育にコンピュータを導入、その影響でコンピュータに夢中になる。理科と数学が良くてきたということも。

この学校で後に会社を作る仲間のポール・アレンに出会う。ポールは就職するが、ゲイツはハーバード大学に進む。ビル・ゲイツはソフトウェア開発に優れ、ポールはハードウェア専門で、互いにその欠点を補完し合っていた。そして会社設立へ。

3. ビル・ゲイツ・シニアへの質問から

我が家では、社会奉仕は伝統、妻のメアリーも私と同様「一つの目標に向かって人々が協力すれば、一人でするよりもすばらしいことが起こる」と信じています。

このことはロータリーの右に出るものはない。ロータリーはポリオ撲滅活動においてもビル&メリンダ・ゲイツ財団とにとって、不可欠なパートナーとなった。

ゲイツ一族とロータリーの共通点は、壮大なことを考え、大胆な目標を定め、それを達成するための莫大なリソース(資金・人材など)を確約する能力と気持ちがあること。

ポリオは恐ろしい病気、協同の活動を通して完全撲滅する日を心待ちにしている。

(ゲイツ財団は、国際ロータリーのポリオ撲滅活動に3億5500万ドルの支援をし、これに対しロータリーは、2012年6月30日までに2億ドルの資金を集めることを誓約している)

「ちはやぶる」

世の中が不景気で先行きに希望が持てない時、パチンコ、競馬、競輪などに集まり、劇場、寄席などがはやるという。一発勝負に夢をかける、いやな世の中から一時逃避する。人間だれしも考えることであろう。

7月15日早朝、2時間半駅頭に立ち、その上、体調も思わしくなかったので、帰ってすぐに横になる。今日はゆっくりするつもりだ。

テレビで大リーグのオールスター戦を見たが、日本人でただ一人出場のイチロウが途中交代したのでチャンネルを変える。美人で和服の似合うアナウンサーが写し出された。NHKハイビジョンの“お好み

寄席”司会の塚原愛だった。この番組も終りの方で三遊亭小遊三の落語を残すのみだった。演題は“ちはやぶる”、社会からの逃避なんてそんな大げさなものではないが、とにかくゆっくり視聴することにする。

ある家の娘さんが、国語の宿題を持って来る。全員に和歌が割り振られ、それを調べてくるもの。“ちはやぶる 神代も聞かず竜田川 からくれないに 水くるとは”が、割り当てられたうた、在原業平朝臣の作。日頃わからないことは何でも聞けと言っていた父に聴く。父わからず、親しくしている町内の古老に聞く。古老わからず勝手に解釈をする。

竜田川というお相撲さんがいた。努力して出世し、ある日吉原に行く。そこで大変美人のちはやという芸者に会い、すっかりほれ込んでしまう。しかし、ちはやに軽くふられる。そこでやはり美人の妹芸者かみよに言い寄ったが聞いてもらえず、失意のあまり相撲に力が入らず、やめて田舎に帰る。

父母のいる田舎は、豆腐屋で竜田川はそこで一生懸命働く。ある日、一人の女乞食が物乞いにやってきた。“2～3日何も食べていないので、オカラでも何でも恵んでください”と。竜田川はかわいそうに思い、大きな手いっぱいのおカラをすくい渡そうとその乞食の顔を見ると何と驚くことに忘れもしないあの芸者ちはやだった。一度に怒りがこみ上げ、そのオカラを投げつけた。手についたオカラをはらいおとすと、昔の相撲がよみがえり、ちはやをつきたおした。ちはやはどうすることもできず、そばにあった井戸に身を投げてしまう。“水くるとは”となげく。

以上まちがった解釈かもしれないが、その情景が想像でき、いわゆる「疑似映像化」ができる。

ところで、この和歌の正しい解釈はと調べてみた。私の友人の保泉猛史著「文ちゃんの百人一首」によると、“新調された屏風の絵は、なんと素晴らしい絵でしょう。竜田川の流れを唐紅色に絞り染めにしたように錦の紅葉が照輝き、青く流れる水を染めぬいているではありませんか。神代の昔から、こんな素晴らしい光景があったとは聞いたことのない美しさです”と。

皇后(清和帝)高子の新しい屏風を詠んだ画賛の一つ、業平と高子は恋人同士だったといわれている。

なお、この本は子供たちが和歌を親しむための入門書である。この中の説明や解釈は、和歌の理解を深めるため疑似映像化がしやすいように書かれている。

この疑似映像化こそ、応用力を付ける大事な学習である。

これから社会はどう変わるか。不景気脱却はいつか。時代はあまり進んでいない。

活動計画発表

年間プログラムについて

クラブ管理運営委員会
大網庄一郎 プログラム担当部長



1. プログラム編成の基本的考え

- (1)各委員会の計画が予定通り実施できるよう連携を密にする。
- (2)全会員の卓話を実施する。
- (3)何はともあれ例会に出席し、お互い顔を合わせよう

2. 主な内容

(1)例会の休会日

定款第6条第1節c項 4日

法定休日 2日 2/11 建国記念の日

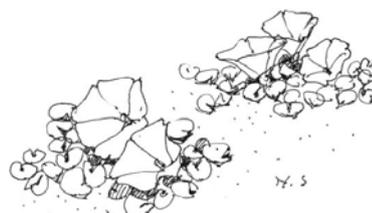
4/29 昭和の日

(2)全会員による卓話 誕生月に行う

(3)各委員会の活動計画の発表

発表者 各委員長 5名

担当部長 8名



ニコニコ BOX

大須賀三智男 親睦担当委員

永島 強 スポンサーピンを会員皆様のおかげでいただき、ありがとうございました

千葉一利 下手な話を聞いていただいて

*大須賀三智男 長男、次女の結婚が決まりました

* > 1,000円 合計 4,000円

出席報告

高島治雄 出席担当委員

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21	17	4	0	80.95%
前回	21	17	4	2	90.05%

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦
火	富津(最終例会 18:30~19:30)
水	木更津東、富津シティ(最終 19:00~20:00)
木	上総、木更津

君津 RC	ホテル千成	0439-52-8511
袖ヶ浦 RC	和風レストラン菜心味	0438-64-0756
富津 RC	山の上ホテル	0439-67-0388
木更津東 RC	ホテルロイヤルヒルズ八宝苑	0438-23-0211
富津シティ RC	ホテル喜楽館	0439-87-4126
上総 RC	割烹旅館 山徳	0439-27-2003
木更津 RC	東京ベイプラザホテル	0438-25-8888

理事会報告(07/30)

出席:志波克、原田雅式、榎本守男、白石幸久、高島治雄、須藤隆、千葉一利

各委員会から提出された中・長期計画を検討整理し、下記の長期計画案を作成した。

長期計画(案)

現況把握

長所:①和やかな雰囲気 ②敬愛心の充実

③多様な人材 ④社会からの信頼感

短所:①少人数 ②壮年会員不足 ③小財政力

④女性会員不在

期待事項:①若い会員の増加 ②企業会員の増加 ③女性会員入会 ④青少年教育への助力 ⑤国際平和に貢献

懸念事項:①会員減少と高齢化 ②社会貢献度減少 ③クラブ知名度低下 ④クラブ活動力低下

未来像 (2015年)

地域社会及び青少年に対する活発な奉仕活動、世界の後進地域への効果的な援助、そして会員の職業における倫理観の高さで、地域社会およびマス・メディアからの注目を集める。

壮年層、女性、企業人の入会が増加し、会員数は30名となる。

常に奉仕戦略を検討し、奉仕活動、職業倫理の高揚に務めるクラブとして存在する。

目標 (2013年、2015年)

○会員増強・退会防止委員会

友愛と奉仕の心を大切にし、地域社会・世界に貢献する会員を2013年までに25名とし、引き続き壮年会員、企業からの会員増加を計り、2015年には30名とする。

よって、親睦・相互研鑽の機会増加、クラブ単位での奉仕力の強化を期待する。

○クラブ会報・広報委員会

クラブ活動記録としての機能を充実させ、クラブ活動の一層の充実、より有益な卓話内容等の発現を増進させる。2013年までには、会報の抜粋を大佐和地区全域に年1、2回全戸配布できる体制作りとその実施、2015年までには富津市全域を対象とする。

○クラブ管理運営委員会（指導者育成）

- ①効率的なクラブ作りのためにクラブ組織が定期的に見直され改善される体制を2013年には作り上げ、2015年には恒例作業とする。
- ②出席率向上に努め、2013年には90%以上、2015年には95%以上とする。
- ③定期的な家族親睦会を充実させる事、親睦を深めるための趣味の会、同好会を発足させる事に努め、2013年にはそれぞれ年二回の実施、二つの会を定着させ、2015年には倍増する。
- ④ロータリーの内外で各会員がそれぞれの特性を生かして十分な活動が出来るための品格知識を会得する機会を出来るだけ多く作り、又紹介する。具体的目標は作らない。

○奉仕プロジェクト委員会

- 2013年までに、各会員「個々」が世のため人の為に、自己の職業以外のことで1件以上の奉仕を試行する。
- 2015年までに、その結果を集大成、選抜、以後のクラブとしての奉仕活動の指針とする。

○ロータリー財団・米山記念奨学会委員会

- ①ロータリー財団
エブライヤー\$100、ポリオ撲滅寄付を続けながら、2013年までに6名のポールハリス・フェロー、2名のマルチプル・ポールハリス・フェロー、2015年までに更に5名のポールハリス・フェロー、1名のマルチプル・ポールハリス・フェローを誕生させる。
- ②米山記念奨学会
2013年までに10名以上の準米山功労者、2名以上の米山功労者、2015年までに5名以上の米山功労者を誕生させる。



会員投稿

『脳死について』

三枝一雄 会員

脳死が人の死であるという結論が出たようである。今まで多くの議論があったように「死」という概念は大変難しい。私は41年前、三枝病院を開業した時から毎週、若い看護学校生徒を中心に、職員教育の場を設けていたが、その最初の講義を「死について」としたことを記憶している。それは、これから若い娘達が当直等で患者の死に直面して素人のようにうろたえてはいけなと、いわばプロとして肚をくくるためであった。

その頃の「死」は呼吸が止まり、心臓が止まり、更に瞳孔反射が消失することをもって決定した。それでも医師にとっては、息をつめて見守る家族に囲まれて「ご臨終です」と死の宣告をするのはつらいことである。死は、受け入れ難い事実である。それをまだ暖かく顔色もよく脈が触れているのに脳死を「死亡」とするのは、如何なものだろうか。

一方、移植を望んでいる患者や家族は、特に子供の場合は海外までも出かけている現状である。一刻も早く移植を受けたい。他人の臓器を貰ってでもわが子の命を助けたいという親心を誰が咎めるだろうか。新鮮な臓器を早く提供してあげたい。しかし、それが心の奥底で誰か交通事故で脳死になってくれないかと望むようにならないとは限らない。それを交通事故死をした家族達は恐れ、奇跡を信じて回復を祈る立場から早過ぎる死の判定を危ぶむのである。まだ議論が必要だ。

あとがき

高橋裕之 会報担当委員

温暖化を防ごうと、声高にCO₂削減が叫ばれている今日ではありながら、実は今年の7月は、記録的な冷夏であったたようです。

炭酸ガスは増えたのかもしれませんが、少子高齢化と過疎化が進んだ我が家周辺では、かつては管理されていた里山が、急激に原生林に戻っているように見えます。人間の手が入らなくなった山林では、わが世の春を謳歌するように様々な植物が、猛烈な勢いで成長しています。おまけに天敵の少ないイノシシまで…